



# シミュレーション研修 ～多重課題への対応を学ぶ～



期間：10月13-20日

研修者66名を対象に、シミュレーション研修を実施しました。研修者それぞれが担当看護師役・患者役・観察者役となり、多重課題・時間切迫状況下の事例でシミュレーションを行いました。1回の演習ごとに振り返りを行い、「良かった点」「改善点」を確認し、次の演習の参考にしました。グループワークでは、「安全を考慮した優先順位の判断」「基本に沿った看護ケアの実施」「自分の能力の限界と先輩看護師への応援要請」「患者に対する適切な言葉遣い」の視点で検討しました。自己の傾向と課題が明らかになり、今後の看護実践での具体的な行動を意識することができていました。



多重課題の場面において、優先順位を考え、すぐに対応できないときの患者への声掛けを意識していました。



状況切迫の場面においても、30秒以内のチェックや7Rの確認、輸液ポンプにおける正しい操作方法、手指消毒など、基本的な看護ケアを実施していく必要があると話われていました。



研修者は先輩看護師に応援を呼ぶタイミングに難しさを感じていました。ISBARCを活用して、状況を的確に伝える必要があることを学んでいました。



## N95マスク装着研修

期間：4月9, 12, 27日  
10月13-20日

4月12名、10月56名の新任者を対象に、N95マスク装着研修を実施しました。自分に合ったN95マスクを確認し、着脱方法とシールチェックの方法を学びました。



N95を装着する必要がある感染経路や空気感染する主な感染症について学びました。

呼気の漏れがないか、シールチェックを行いました。



キャップとフードをかぶり、IPD化した物質を噴霧し漏れがないかフィットテストを行いました。